



2020年12月 3日  
第70号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情報担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 正しい情勢認識と組合員の声をもとに 21春闘をJR東労組全組合員でつくり出そう!

### 【春闘とは?】

厚生労働省のホームページには、『各企業等の労働組合は、全国中央組織の労働団体や産業別組織の指導・調整のもとに、毎年春に賃金引き上げ等を中心とする要求を各企業等に提出し、団体交渉を行います。これを一般に「春闘」と呼んでいます。現在の春闘方式は、1956（昭和31）年から始まったと言われており、半世紀以上の歴史があります。』とあります。

春闘は、“春季生活闘争”の略です。JR東労組は加盟している連合、JR総連の仲間と共に春闘をつくり出していきます。

21春闘についてはすでに以下のような内容の報道がされています。

### 連合 21春闘ベースアップ2%方針を決定

連合は12月1日に中央委員会を開催し、21春闘においてベースアップ(ベア)を2%程度、定期昇給分を含めて4%程度を要求する方針を決定。これは20春闘と同水準で8年連続でのベア要求。コロナ禍で業績悪化している企業も多いが、賃金水準の底上げが必要とし、連合の神津会長は「これまでの賃上げの流れを止めてはならない」と強調。

### トヨタ自動車労働組合 21春闘ベースアップ要求見送りへ

トヨタ自動車労働組合は、21春闘においてベースアップ(ベア)要求を見送る方向で調整に入ったことが明らかになった。20春闘でトヨタは7年ぶりにベア実施を見送った。21春闘で労組側が要求をしなければ2年連続でベアゼロになる可能性が大きい。また、黒字のトヨタで労組がベア要求見送りをすれば、21春闘に大きな影響を与える可能性がある。

## 21春闘では「雇用・定昇・ベア」の確保を課題とした JR総連春闘をたたかっています!

